

kind ushiku 2024年度 放課後デイサービス自己評価表集計結果

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	66%	17%	17%	年齢別に活動内容を分けることで、安全なスペースを確保できるよう努めています。
	②	職員の配置数は適切であるか	83%	17%	0%	利用人数に応じて配置できていると認識しています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	66%	17%	17%	事業所利用対象者に応じた設備の整備に関しては設置基準を満たしています。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	100%	0%	0%	効率よく業務遂行ができるように全体で情報交換を行っています。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%	0%	0%	保護者からの意見を精査し、可能な限り対応しています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公表しているか	100%	0%	0%	LITALICO発達ナビ、事業所公式lineにて公表しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0%	50%	50%	実地指導以外の外部評価は現在は実施しておりません。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	83%	17%	0%	研修内容に応じた参加者の選定と参加計画を立案していきます。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、サービス計画を作成しているか	100%	0%	0%	職員全体が計画書の評価や支援目標の設定の検討に参加し、児童発達支援管理責任者がまとめています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	66%	17%	17%	医師や心理士の判定結果の情報を保護者から伺いながら支援内容の構築に繋げています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	83%	17%	0%	日常的に職員間で意見を出し合い計画立案しております。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	83%	17%	0%	季節に合わせながら1ヵ月毎に活動予定を立案しています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	100%	0%	0%	休日には平日に出来ない昼食づくりや準備のための買い物また公共機関を利用した外出等を行っています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせるサービス計画を作成しているか	100%	0%	0%	個別から小集団、集団へ順応できるように活動案を検討しながら作成しています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	67%	33%	0%	支援開始前に当日の予定や利用に関する変更点などを確認し共有するよう努めています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	50%	50%	0%	退勤時間の違いから全員ではありませんが、振り返りを実施し、翌日以降に情報を繋げています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証、改善につなげているか	100%	0%	0%	個別の支援記録を利用ごとに記録し保管しています。

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑮	定期的にモニタリングを行い、サービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%	0%	0%	半年に一度、支援計画書の見直しを実施しています。
	⑯	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	83%	17%	0%	5領域における活動を意識しながら支援の提供を実施しています。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	83%	0%	17%	相談支援事業所のサービス担当者会議の開催実績はないが主に電話連絡にて情報共有を図っています。
	㉑	学校との情報共有(年間計画、行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	83%	17%	0%	各学校とは利用予定表や送迎予定の情報を毎月、交換しています。児童の様子で不明瞭な事があれば、直接、学校の先生に送迎時に何う事もあります。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				現在、医療ケアを必要とする児童は通所しておりませんので、評価を実施いたしませんでした。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか				現在、未就学児が通所しておりませんので、評価を実施いたしませんでした。
	㉔	学校を卒業し、放課後デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか				項目にある対象児童が現在、在籍しておりませんので、評価いたしませんでした。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し助言や研修を受けているか	66%	17%	17%	助言を受ける機会や研修への参加機会は少ないと認識しています。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	17%	17%	66%	意図的な交流機会は設けていませんが、公園等で一般の子と触れ合える機会を多く作っています。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	66%	17%	17%	市内における連絡協議会の開催ごとに参加しています。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	0%	0%	可能な限り、保護者と情報交換し、現状の課題に対する解決方法や見通しが共通認識されるよう努めています。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	34%	64%	0%	保護者の方へは事業所の支援の中で効果的だった関わり方や視点を強制的にならないように伝えています。
	㉚	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%	0%	0%	契約時において重要事項説明書を元に説明させていただいております。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%	0%	0%	保護者の方から伺った話の中で事業所として応じることが出来る内容を明確にし、子育て支援にも尽力できるよう努めています。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	100%	0%	0%	全体で保護者会(BBQ)を開催し多くの保護者の方と交流する機会を設けられました。

	③③	子どもや保護者からの苦情について体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%	0%	0%	苦情解決窓口、責任者を契約時に必ず伝えております。苦情、要望が発生した場合や対応に関して全体で共有しています。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%	0%	0%	毎月の活動予定、イベント参加情報等以外にも悪天候に伴う、運営上の変更点等を公式lineにて迅速に発信しています。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	100%	0%	0%	同意書締結のもと注意しております。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%	0%	0%	絵表示等の活用、個々の行動サインを共有することで配慮しています。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか	0%	17%	83%	招待するには至っておりませんが、近隣の方々とは良好な関係を築いております。
非常時の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100%	0%	0%	マニュアルの策定は行われています。またその旨を契約締結時に保護者へ伝えていきます。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救助その他必要な訓練を行っているか	100%	0%	0%	年2回、火事、地震を想定した避難訓練及び避難経路の確認を実施します。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	83%	17%	0%	虐待防止に関する指針を作成し、毎月開催される支援会議内でも協議を行っています。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上で、サービス計画に記載しているか	100%	0%	0%	身体拘束適正化に関する指針を事業所内で周知し、保護者への説明、同意書の交わしを行ったうえでサービス計画に記載しています。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示所書に基づく対応がされているか	66%	17%	17%	保護者の方を経由して情報を共有し食物アレルギーに対応しています。
	④④	ヒヤリ・ハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%	0%	0%	ヒヤリ・ハット事例を収集し、環境面、支援内容の改善を毎月、図っています。

*小数点以下は四捨五入してで計算しています。